

地域おこし協力隊が開く～古賀市農産加工品、新章へ～

古賀市で新たな農産加工品の開発と、販路開拓に取り組む地域おこし協力隊の関東憲子^{かんとうのりこ}さん。令和5年の赴任から1年、地元農業者らの協力のもと繰り返し試作した、ジャムやソースをお披露目します。試食会の後には、新商品の成り立ちや地域おこし協力隊での活動の振り返りをスライドで発表します。

商品に用いる材料は、あまおうやブロッコリー、スイートコーンなど小野地区の農産品のみを使用。多世代が食卓に取り入れやすいように、ジャムやペースト状に加工しているのが特徴です。試食会参加者からの多様な意見を取り入れ、今後の新たな商品開発に生かしていきます。

■ イベント概要

日時：3月12日（火）14時～15時30分

会場：快生館（古賀市薬王寺95）※駐車場あり

対象：スマートアグリビレッジおの推進協議会、
報道機関など

内容：小野地区の地場産品を加工した商品（あまおうジャム、黒豆ときなこペースト、ブロッコリーとスイートコーンのディップソース）の試食。商品の成り立ちや、地域おこし協力隊の活動報告をスライドで実施。



■ 目的

古賀市は、農業経営の安定化と多角化を進めるため、地域おこし協力隊が中心となって、地場産品を活用した商品開発に取り組んでいます。小野地区では「スマートアグリビレッジおの推進協議会^{*}」を立ち上げ、いちご、スイートコーンなどを原材料とする商品開発を積極的に行っています。

2月中旬には、市内の恵あおぞらこども園に無人販売所を設け、試験販売を実施。今回の試作品を足掛かりに、市の新たな特産品開発をめざしていきます。



※小野地区でスマート農業技術の普及とデジタル活用による生活支援を目的に、小野地区の農業者や九州産業大学の研究者、市社会福祉協議会などを構成員とする任意団体として、令和5年3月に設立した任意団体。

■ 主催 スマートアグリビレッジおの推進協議会

【問い合わせ先】

古賀市役所 農林振興課農政係 担当：中田・長井・関東
電話：092-942-1120